

第29回千葉大学予防医学センター市民講座

出生コホート調査における

化学物質測定の実状

定員50名
入場無料
申込み不要

平成30年

3月3日(土) 13:00開場 13:30開演

会場：千葉大学西千葉キャンパス 松韻会館

千葉大学予防医学センターでは、母親の妊娠前から妊娠中、出生後に化学物質にさらされることによる子どもの健康への影響について研究を進めています。今回の市民講座では、母児を長期間追跡するコホート調査における人体サンプル中化学物質測定でわかってきたことを発表する予定です。

講演1 環境と子どもの健康について『子どもは環境の影響を受けやすい：鷗外の時代と今』
森 千里：千葉大学大学院医学研究院環境生命医学教授
千葉大学予防医学センター長

講演2 血清中における残留性有機汚染物質の測定高度化とその曝露源について
江口 哲史：千葉大学予防医学センター 助教

講演3 健康への影響が気になる金属について
山本 緑：千葉大学予防医学センター 助教

プログラム

- 13:00 開場
- 13:30 開会の挨拶
- 講演1 森 千里 (20分)
- 14:00 講演2 江口 哲史(30分)
- 14:30 講演3 山本 緑 (20分)
- 14:50 質疑応答
- 15:00 閉会



主催(問い合わせ)：千葉大学予防医学センター TEL 043-290-3896

※本市民講座は、「平成29年度環境研究総合推進費(5-1652)血中POPの迅速一斉分析法を用いたヒトへの曝露起源解析」の助成を受けて実施されます。